

霧島市文化協会

会報きりしま

2025年3月31日

第19号

発行：霧島市文化協会会長 瀬戸口 浩
事務局：霧島市スポーツ・文化振興課内



福山 藤間流 翠扇会

横川 綾木流英草鶴会



牧園 Andante



霧島 高千穂民踊会



満辺 満辺太極拳同好会

第19回芸術祭「舞台発表」令和7年2月9日 国分ハウジングホール(霧島市民会館)



隼人 英流 聖翔峰会



国分 社交ダンス国分



特別出演 小浜太鼓踊り民芸保存会



特別出演 こどもの城クローバー

特別出演 笑福神楽団

生前は、みやまコン
セール設立に携わり、
舞台監督を務めるな
どご活躍されました。
また、鹿児島オペラ協
会、NHK鹿児島児童
合唱団代表など後進

4年前から病氣療養中でした
が、薬石効なく昨年12月23日急
逝されました。71歳でした。な
お、故人およびご遺族のご意向
によりまして、通夜葬
儀はご親族限りの家
族葬で執り行われま
した。後日、鹿児島ザ
ビエル教会にて追悼ミ
サとお別れの会が催さ
れました。天に召され
た瀬戸口浩会長の平
安をお祈りいたしま
す。



会長
故・瀬戸口 浩

瀬戸口浩会長を偲ぶ

の育成にも尽力されました。霧
島市文化協会長に就かれてから
は、2世代から熟年世代を取り
込んで市民文化の向上に着手さ
れている途上でした。

霧島市、鹿児島県にとってか
けがえない巨星を失われたこ
とは、誠に痛恨の念にたえませ
ん。謹んでご冥福を心よりお祈
り申し上げます。



ごあいさつ



霧島市長
中重 真一

霧島市文化協会「会報きりしま」第19号の刊行をお喜び申し上げます。

霧島市文化協会の皆様には、日頃から、本市の芸術文化活動推進に多大なるご協力をいただいております、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、文化協会の新規事業として、「文化を創る、伝える、魅せる」をスローガンに、全世代、全分野にわたり、交流と連携を図ることを目的とした、「次世代文化フォーラム」を開催されました。民芸保存会・公民館講座講師・高校生・市芸術文化議員連盟の皆様との交流、意見交換等を通じて、文化協会の活動を更に活性化しようとする姿勢に、敬意を表します。

芸術文化は、市民の心を豊かにし、生活に潤いを与え、社会全体の活性化に大きく寄与します。芸術祭や文化祭、文化講演会をはじめ、各地での芸術文化活動の活性化により、今後も芸術文化の灯が多く、市民に広がることを期待しています。

結びに、会員各位のご健勝とご活躍、霧島市文化協会の益々のご発展を祈念し、あいさついたします。

ごあいさつ



霧島市議会議員
飯屋 国治

暖かな日差しが心地よい季節となりました。ここに、霧島市文化協会「会報きりしま」第19号の発刊されますことを心からお喜び申し上げます。

霧島市文化協会の皆様は本市の文化芸術の中心として様々な活動が続けられ、地域文化の振興に大きな役割を果されておりますこと、深く感謝申し上げます。

昨秋の、各支部文化祭と、それらを結集した芸術祭は、地域色豊かに創意工夫を凝らし市民の皆様へ感動と喜びを届けていただきました。改めて霧島市の文化の奥深さ、そして多様性に感銘を受けました。

近年、社会の変化とともに、人々の価値観やライフスタイルも多様化しています。

このような中において、文化活動は、人々の心を豊かにし、地域社会の絆を深めるうえでますます重要な役割を担っています。

「市民の皆様が気軽に文化に触れ、自らも文化活動に参加できる環境づくり」に尽力されてきた故瀬戸口会長の想いが一日も早く実現いたしますようご期待申し上げます。本年、本市は市政施行20周年を迎えます。市議会といたしましても地域文化に関する理解と関心が、今後とも一層深まるよう努めてまいります。

結びに、文化協会のますますのご発展と会員各位のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。

【横川支部】

本年度も大隅横川駅にて開催いたしました横川支部文化祭は、町内のカフェ、itoさん・大ちゃん弁当さんの出店や、支部会員及び小・中学校の子供たちの作品展示の協力をいただき、色とりどりの品物で目もおなかも喜ぶ会場となりました。また、大隅横川駅保存活用実行委員会、及び地元の方々によるフリーマーケットの出店、横川図書室で廃棄予定の本も並び、コーヒーを片手に本を読んだり、掘り出し物を探す人で会場は賑やかな時間が流れました。「小さな文化祭」ではありますが、これからも地域の皆さんと一緒に歩んで行けたらと思っています。



【牧園支部】

いつもより2か月早く開催することになった
牧園支部文化祭。実行委員会も4月に立ち上
げて始動、みやまコンセールや県立霧島高校と
の打合せも綿密に行いまして、9月15日の本番
を迎えることが出来ました。

当日は生憎の天候でしたが、市長様、市議会
議長様、そして市文化協会長様にご臨席賜り、
関係者を含めて300名を超えるお客様にお
越しいただきました。霧島高校の皆さんにも
受付係やアナウンス係、舞台裏係などをボラン
ティアで協力をいただきました。

展示発表には、「牧園つるし雛すみれ会」のご
協力をいただき、例年になく華やかな展示発表
となりました。舞台発表は、会員の皆さんの日
頃の練習の成果を披露、最後にはゴッタンズ霧
島の演奏に客席では
踊りが始まり、会場
内は大いに盛り上が
りを見せました。

令和7年の文化祭
は11月15日に開催で
す。



【霧島支部】

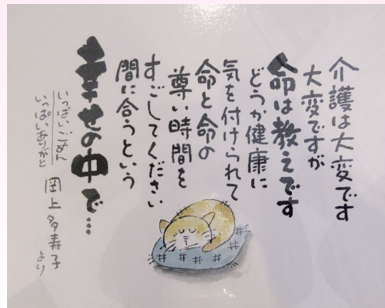
今年度は機能移転した霧島公民館での開催

となりました。初めての会場で、舞台・音響等
の設備への不安もありましたが、会員や霧島総
合支所の皆さんのお知恵や労力を頂き取り組
めました。当日は中重市長にご臨席頂き、霧
島中学校吹奏楽部の素敵な演奏で開幕です。
会員は、日頃の練習の成果を十分に発揮し満面
な笑顔で発表します。観客席と舞台が近く、
お互いの息遣いを感じられ、一体感を醸成し盛
大に終わることができました。地域からの出店
やJA女性部の野菜・手芸品販売の他分野交
流で皆様に喜んで頂き地域の活力向上や活性
化も図っています。
この様な小さな町の
小さな文化祭から夢
が広がり笑顔が繋が
り、この地で生活で
きる喜びを大事にし
つつ、今後も工夫を
重ね地域の皆様と共
に楽しい活動を目指
してまいります。



【溝辺支部】

令和6年、新年度の溝辺支部は16団体での活動が始まりました。加入団体の減少が続いておりましたが、ここ数年は踏みとどまっている状況です。11月には溝辺支部一大行事、みぞべ文化祭をみそめ館で行いました。好天に恵まれ、会員の他にも、溝辺地区内の小・中学生、保育園児の皆様にも舞台発表や、展示発表にご協力いただき大変盛り上げていただきました。同日、みそめ館屋外では「みぞべ秋祭り」も開催され、お互いの相乗効果により共に大変な賑わいとなりました。反省点もありましたが、次回に繋がるよう検討していきたいと思えます。令和7年度は、文化協会溝辺支部の50周年目に当たります。只今、記念事業の企画を進めているところです。



【隼人支部】

令和6年度の文化祭は、十月二十七日に開催する予定で準備が進んでいる中、衆議院選挙が実施されたことで、十一月十日に変更して開催いたしました。

当日は他にいくつか行事が重なった為に、プログラムや係員等々変更して開催することになりましたが、舞台発表部門は十八団体、展示部門は五団体と多くの会員の協力で実施することができました。

「香水をふり百歳を目指す母」

NHK俳句特選より

（いつも身だしなみを整えて、最新のファッションを着こなし、今日も鏡の前で香水をふる母。百歳は目標。）

百歳を目指す母のように毎日を楽しむ素敵なき方が心の豊かさなのかもしれません。

目標は人を成長させ毎日元気な過ごす力になると思えます。

芸術文化も同じです。皆様に心の豊かさ、そして元気を与え、また、私達も皆様の声援で元気を頂きながら、豊かな「地域」づくりに努めて参ります。



【国分支部】

国分支部は十九年目で発足当時より三十団体減の、五十四団体、約千名減の七六十名の規模となりました。支部運営の課題は役員組織の活性化を中心に少数精鋭による活動、高齢化した組織に見合った活動を模索している所です。

主な行事は、春の文化祭にあたる「チャリティショー」と作品展示を六月に、秋の文化祭を十一月に舞台と展示発表を例年通り実施しました。

年次総会を四月に、臨時理事会を八月に年間五回の役員会、二回のプログラム編成委員会等を行いました。

悲しいことに令和六年十二月に活動熱心な支部長瀬戸口浩様が逝去されました。今から新しい役員体制を構築いたします。



【福山支部】

今年度、福山支部は、新たに展示部門の1団体（フラーデザイン）が加わり、全5団体、会員数37名でスタートしました。

恒例となっている福山支部文化祭は、11月10日（日）に開催しました。この日は、市内外の色々なイベント等と重なっており、どれくらいお越しただけるか心配しましたが、幸いにも昨年度と同程度の来場者に恵まれました。

福山支部では、会員だけでは文化祭の開催が難しいということで、舞台、展示共に会員以外の個人・団体にも協力をお願いして実施しています。ここ数年は、参加者の公募も行い、これにより、今年度は、舞台プログラムも少し増えました。オープニングで出演いただいた「平山やまびこ太鼓」もその一つで、福山文化祭を大いに盛り上げてくださいました。

福山支部は、地域の文化振興に更に貢献できるよう、今後も、会員一同、一層努力して参ります。



第19回 霧島市芸術祭展示発表

【令和6年11月17日～11月23日霧島市民ギャラリー】



展示会場



国分書道会



横川支部



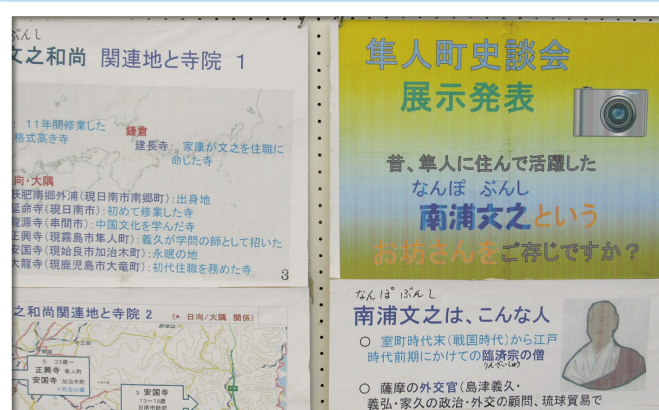
霧島支部



牧園支部



国分支部



隼人支部



溝辺支部

文芸作品

にしき江短歌教室

はふはふと湯豆腐を食ふなにもかも
中途半端が生きるにやさし

少しづつ日脚伸びゆき死の予感遠ざ
かるなり新春の河畔に

団体旅行の解散のごと散るカラスあり
木枯し混じるうすき夕焼

縄文の冬も寒かる火を熾し暖を取り
つつ寄り添ひるしや

冬の雨に静かに落ちる山茶花よ思ひ
めぐらす亡母の生き様

霧島俳句同好会

雪女生ひ立ち話す夢枕

民泊のA班作る根深汁

寒見舞耳鼻科通ひと添書す

満月や北前船の蔵屋敷

日矢ひとつ薄紅色の雪の峰

隼人俳遊会

柴犬は大暑の散歩抱かれおり

大空のひこうき雲に夢かける

夏空や入道雲にゲリラ雨

古代から空を焦がすや草千里

梅雨空をにらんで磨くクラブかな

油田 重隆

南 房子

内田 京子

田中 洋子

猪木 義人

松元 明子

山内 幸子

ハケ代典子

徳丸 道明

伊地知和枝

庭 女

宇都山

鯛 単

竹麻呂

理風人

第20回きりしま

美術大賞展

霧島市文化協会の共催事業である「きりしま美術大賞展」が7月に開催されました。一般部門291点、ジュニア部門2,506点の中から、審査により入賞160点、入選456点が選ばれ、展示会場のシビックセンターには多くの方が訪れました。

【霧島市文化協会賞受賞作品】

●自由部門

『TOWAに・・・』

桃木野 誠(鹿児島市)



『高千穂峰遠望』
岡元 昌子(霧島市)



『TOWAに・・・』
桃木野 誠(鹿児島市)



『ぞうさんの水あび』
真辺 あむ(青葉小学校)



『バスに乗ったよ』
はなその げん(まいづるこども園)



『霧島神社』
高橋 弥寿(舞鶴中学校)



『運動会の思い出』
永里 陸斗(牧之原特別支援学校)

●テーマ部門

『高千穂峰遠望』

岡元 昌子(霧島市)

●ジュニア部門(幼児の部)

『バスに乗ったよ』

はなその げん(まいづるこども園)

●ジュニア部門(小学校低学年の部)

『ぞうさんの水あび』

真辺 あむ(青葉小学校)

●ジュニア部門(小学校高学年の部)

『運動会の思い出』

永里 陸斗(牧之原特別支援学校)

●ジュニア部門(中学生の部)

『霧島神社』

高橋 弥寿(舞鶴中学校)

霧島市文化芸術議員連盟

霧島市文化芸術議員連盟(以下議員連盟)の交流は、3年になりました。今年度は賛助会員に10名の入会が有り感謝しています。総会、芸術祭、文化講演会などに積極的に参加されて当協会の運営に於きましても貴重な助言を頂いています。

初めての試みでしたが、行政担当者・文化協会・意見交換会は、議員連盟の仲介による立案で開催しましたが、忌憚なく物を言い合う良い機会でした。「文化は、心のオアシス」といいますが、心の豊かさに貢献できる文化協会でありたいと思います。

(令6年8月23日 議会議棟)



第11回霧島市文化講演会

「たけちゃん一座公演」と題して開催。認知症や介護をテーマに竹下座長をはじめ9名の出演者は、涙と笑いで満員のお客様が楽しんで頂きました。また、文化協会から選出の会員さん3名の熱演が爆笑を誘っていました。

(6年8月18日多目的ホール)



次世代文化フォーラム

様々な分野の様々な人達に文化について語り合いより豊かで潤いのある生活を送ることが出来る様に活動することを目的に今年度スタートしました。

若者分野では霧島高校の生徒と職員を交え、文化の意義、文化協会の役割について意見交換会を開催しました。

(令6年8月2日 霧島高等学校)



始良地区文化協会 連絡協議会

霧島市・始良市・湧水町は、2年毎の持ち回りで文化交流を重ねて地域文化の情報交換を続けています。湧水町秋の文化祭は、溝辺支部から和太鼓飛翔の団体が舞台発表に参加していただきました。

(6年11月17日吉松町体育館)



編集後記

▼故瀬戸口浩様は情熱の人そのものでした。文化財産を失ったと思います。

▼横川支部は、少ない団体ながら頑張っています。

▼牧園支部の文化祭は、会場みやまコンセルです。

▼霧島支部は、新装霧島神宮駅が賑わっています。

▼溝辺支部は、みぞべ秋祭りとは併催が定着して館内、屋外に多くのお客様で盛況でした。

▼隼人支部は、改善センターで文化祭とチャリティーの舞台発表を行っています。

▼国分支部は、チャリティーの義援金を直接現地に贈与されています。

▼福山支部は、地域を挙げて文化祭が盛り上がりつつあります。

▼第11回文化講演会は、「竹ちゃん一座公演」の満員御礼の入場者で大好評でした。

▼公民館講座講師&民芸保存会代表者の合同意見交換会は、初めての開催でした。高齢化による会員不足は共通の課題です。

(文責 内山竹文)